

# 都島区まちづくりビジョン2040

～都島区版15分都市～

(素案)

抜粋版

大阪市都島区役所


# まちづくりビジョンの構成

## Chapter 1 はじめに

 まちづくりのトレンドをチェック！


- 1 ごあいさつ
- 2 都島区まちづくりビジョン2040とは
- 3 都島区のまちづくりへの問題意識
- 4 まちづくりのトレンドを知ろう～世界のまちづくりの動き～
- 5 都島区を取り巻くまちづくりの動き（上位・関連計画）

## Chapter 2 都島区の「いま」

 都島区の魅力や強み・弱みをデータで展望


- 1 都島区の「いま」を分析する4つの視点
  - 視点1 生活を支える都市の「便利さ」
  - 視点2 暮らしに選択肢を生む「まちの多様さ」
  - 視点3 都市の利便性を補う「サービスや情報へのアクセスの容易さ」
  - 視点4 暮らしの質を高める愉しみの「豊かさ」
- 2 みんなに聞いてみた 都島区の魅力
  - まちの人たちの声
  - 事業者の声
  - 有識者の声
- 3 その他、区内で特筆すべきまちづくりのうごき
- 4 都島区各エリアの特徴まとめ

## Chapter 3 めざしたい都島区の2040年の姿

 ビジョンを可視化してみると…

- 1 都島区のまちづくりで大切にしたい考え方
  - 2 まちづくりのコンセプト
  - 3 “Meetable Town”の先に生み出したいまちのすがた
  - 4 描きたいまちのシーン
- COLUMN** みんなで考えた「2040年の都島区」
- 5 まちづくりのコンセプトを踏まえて、各エリアで取り組みたいこと

## Chapter 4 ビジョンの実現に向けたアプローチ

 2040年までの行動の方向性

- 1 ビジョンを活かすべき機会
- COLUMN** “Meetable”なまちを実現する5つの要素
- 2 ビジョンの実現に向けた取組の方向性
- COLUMN** まちづくりの事業を具体化するための制度紹介
- 3 ビジョンの実現に向けたロードマップ
- COLUMN** 京橋エリアの動き
- COLUMN** 都島Meets NATURE

Chapter 1

はじめに

# 1 ごあいさつ

## 都島区がいつまでも人を惹きつける魅力にあふれた「であえる」まちをめざして

都島区には、また会いたいと思える人、また訪れたい場所、また参加したいと思える活動や機会など、さまざまな魅力があります。

一方、大阪市全体が近い将来、人口減少に転じることが想定される中、当区においても、これまでと同じ方法だけでまちの活力や魅力を維持していくことは容易ではありません。

このような中、まずは都島区の「いま」を検証し、多様な魅力や強みを整理して見える化するとともに、「15年後」の将来を展望し、区民一人ひとりの暮らしをより豊かにし、それぞれの幸せ（Well-Being）を実感できることをめざして「Meetable Town みやこじま～都島区版15分都市～」をコンセプトに掲げ、まちづくりのビジョンを描きました。

都島区役所の役割は、区民に最も身近な行政機関として、生活に密着したサービスを提供するとともに、大阪市全体のまちづくりを担う市役所と区民をつなぐパイプ役として、地域課題や地域の意向を的確に伝え、解決・実現へ橋渡しすることにあります。

本ビジョンの実現に向けて、本市各局との実行性の高い連携を図り、住民主体のまちづくりを進めていきます。

また、本ビジョンの策定にあたっては、有志の区民の皆さまや区内で活躍されるキーパーソン、民間事業者・各種団体の方々から、多くのご意見をいただきました。日頃から地域課題に向き合い、創造的なアイデアを温めてこられた皆さまの声により、本ビジョンはより彩りを増し、地に足の着いた内容となりました。

本ビジョンに描くまちづくりの実現には、行政だけでなく、区民、及び区内の民間事業者・各種団体の皆さまが相互に今回のような対話を繰り返し、集合知を得ていくプロセスが必要です。

全区一丸となって、

- － 会いたいと思える人にすぐ会えるまち
- － 訪れたい場所が近くにあるまち
- － 参加したい活動に気軽に参加できるまち

「Meetable Town（であえるまち）みやこじま」を実現していきましょう。



2026年〇月

都島区長 藤岡 慶子

## 2 都島区まちづくりビジョン2040とは

### 本ビジョンの目的と位置づけ

都島区では、区政全般を対象とする「都島区将来ビジョン2030」（計画期間5年）のもと、区の特性を活かしたまちづくりに取り組んでいます。一方で、区民の満足度・幸福感の向上につながる都市の発展をめざし、今後到来するまちの長期的な変化に対応しながら、新たな都島区のイメージやまちの魅力の創出、育成、情勢などにつながる施策・事業に多面的に取り組む必要があります。

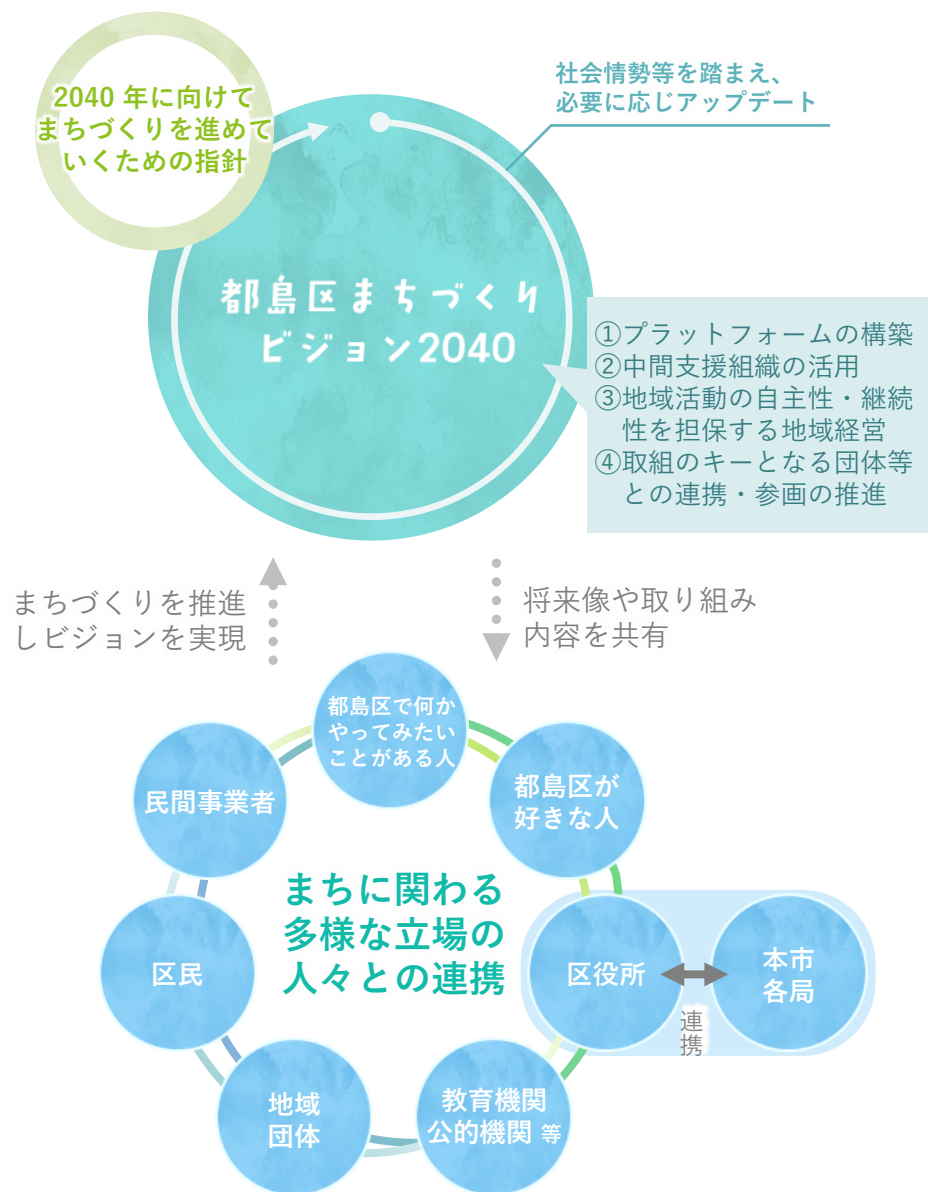
このため、長期的な視点での区の将来像を示し、まちに関わる多様な立場の人々がこれを共有し、同じ方向を向いてまちづくりを進めていくための指針として、「都島区まちづくりビジョン2040」（都島区将来ビジョン別冊）を策定しました。

本ビジョンの推進にあたっては、区民・地域団体・民間事業者・行政が連携しながら、①活動や情報・人材がつながるプラットフォームの構築、②中間支援組織の活用に向けた検討、③地域活動の自主性・継続性を担保する地域経営（財源確保を含む）の検討、④取組のキーとなる団体等との連携・参画の促進の4点についてともに検討し、段階的な実現をめざします。

- ・都島区役所は本ビジョンに基づき各種施策の展開するとともに、市役所の政策がビジョンの実現に寄与するよう連携していきます。
- ・区民や民間事業者のみならず活動や事業を実施するにあたっては、本ビジョンの実現に寄与することを期待します。
- ・本ビジョンは、社会情勢等を踏まえ、必要に応じアップデートすることを前提としています。

対象区域・・・都島区全域

目標年次・・・2040年（概ね15年の長期的な見通し）



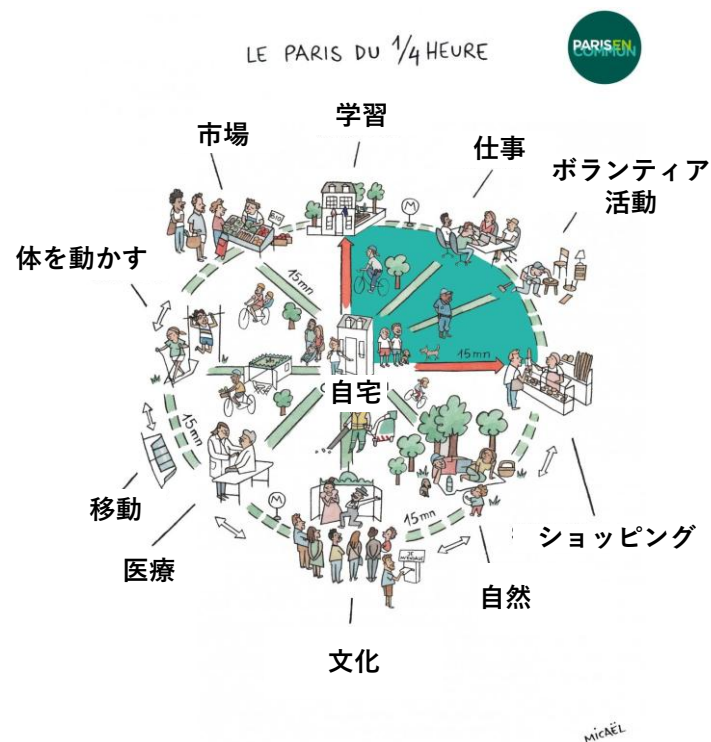
## 4 まちづくりのトレンドを知ろう ～世界のまちづくりの動き～

### 世界的に注目を集める「15分都市の考え方」

#### 「15分都市」とは？

パリ市のカルロス・モレノ氏によって提唱された、都市を構想する上での概念です。

生活、仕事、買い物、医療、教育、自己啓発という6つの必須とされる社会機能に15分以内に徒歩または自転車でアクセスでき、社会生活にとっても地球環境にとっても持続可能となる新しい都市モデルであるとされています。



パリが推進する15分都市の概念 (出典：<https://www.simagazin.com/en/si-urban-en/topics-urban/cities/paris-die-stadt-der-viertelstunde/> より一部日本語訳)

#### 「近い」ことだけではない、大切なこと

また、「15分都市」の概念は、以下の4つのキーワードで語られています。

「近接性」「混在性」により歩いて暮らすことができる基盤が成立し、この基盤の上に「有機密度」が高まることで活力が発生し、さらに、テクノロジーに基づく「ユビキタス」な環境が形成されることで物理的基盤を補完するとされています。

#### ▶近接性 (Proximity)

住民の生活圏内に、必要な施設（学校、病院、スーパー、職場など）が物理的に近い距離に配置されている状態をいいます。

#### ▶混在性 (Mixity)

住宅、商業施設、オフィス、公共スペースなどが、特定の用途ごとに分離されるのではなく、相互に混在している状態を指します。職住近接を実現するための重要な要素です。

#### ▶遍在性 (Ubiquity)

「どこにでも存在する」という意味で、ICT（情報通信技術）が都市の隅々にまで浸透し、人々の生活を支援する状態であり、物理的な近接性だけでなく、情報によるアクセスのしやすさも重視されます。

#### ▶有機物の密度 (Organic density)

有機物（動物・植物）に加え、人と人との交流、自然、歴史・文化といった、都市に活気と多様性をもたらす要素が、適度な「密度」で存在することをいいます。

# 5 都島区を取り巻くまちづくりの動き（上位・関連計画）

## Beyond EXPO 2025

大阪府・市では、大阪・関西万博後の大阪の持続的な成長・発展と、府民・市民の暮らしの向上に向けた新たな成長戦略を策定。

- 【基本方針】副首都・大阪の早期実現及び日本の成長をけん引
- 【めざす都市像】世界に伍する経済力・都市力を有し、唯一無二の魅力がある都市
- ▶【目標】2040年代に名目GDP 80兆円を実現

|                                   |   |                        |
|-----------------------------------|---|------------------------|
| 【重点分野】世界に伍する経済力・都市力を実現し、日本の成長をけん引 |   | 副首都・大阪の実現<br>日本の成長エンジン |
| 経済力                               | ◆ 大阪独自の強みを活かした次世代産業にチャレンジするイノベーション先進都市                        |                        |
| 都市力                               | ◆ 大阪独自の魅力を発揮したワクワク・オモロイを掻き立てるエンタメ都市                           |                        |
| 【副首都を支える基盤】経済力や都市力を支える土台づくり       |   |                        |
| 人材力                               | ◆ グローバル人材やクリエイティブ人材が集積・輩出するエネルギッシュな拠点都市                       | Well-Beingの向上          |
| まちづくり・都市基盤                        | ◆ 「ほっとかれへん」「やってみなはれ」気質を活かしたフレンドリーな都市<br>◆ 成長を支える高度な都市機能を備えた都市 |                        |
| 副首都にふさわしい機能づくり                    | ◆ 平時の成長エンジン機能・非常時のバックアップ機能を果たす都市                              |                        |

## 大阪城公園周辺地域まちづくり方針

「大阪京橋駅周辺」、「大阪ビジネスパーク駅周辺」、「森之宮周辺」の3つのエリアが一体となったまちづくりを進めるための方針を策定。

本区を含む「大阪京橋駅周辺・大阪ビジネスパーク駅周辺」においては、以下の達成が掲げられている。

- ①「国際的な集客・滞在・商業空間」及び「賑わい拠点」
- ②「新たな歩行者ネットワーク」
- ③「スタートアップ・ベンチャーエリア」

## 大阪のまちづくりグランドデザイン

「未来社会を支え、新たな価値を創造し続ける、人中心のまちづくり」を目標とし、めざすべき将来像やまちづくりの方向性を示しています。



京橋を含む「大阪城・周辺エリア」は、拠点の一つ（国際観光拠点）に位置付けられている。

- ・複合的な都市機能の集積、業務・商業・観光機能の強化
- ・関西広域の観光資源をつなぐハブ拠点の形成

## 新・大阪市緑の基本計画(2026)

「一人ひとりが輝くみどりのまちづくり」Green Wellness Osakaの実現をめざす。大川・中之島エリアをみどりの骨格を形成するエリアとして位置付けています。

「一人ひとりが輝くみどりのまちづくり」  
Green Wellness Osaka

都市を支える健全な「みどり」を「育み」  
まちな多様な「みどり」を「活かす」  
人と人が「みどり」で「つながる」ことで  
住む・働く・遊べる人々が  
心身ともに健康で、充実した豊かな暮らしをおくることができ  
「一人ひとりが輝くみどりのまちづくり」  
Green Wellness Osakaの実現をめざします。

## Chapter2

# 都島区「いま」



## 1 都島区の「いま」を分析する4つの視点

### 視点1 生活を支える都市の「便利さ」

- ・ 区内から都心部・ターミナルまでのおおよその所要時間
- ・ 駅・バス停のカバー圏
- ・ 生活利便施設の分布

### 視点2 暮らしに選択肢を生む「まちの多様さ」

- ・ 都島区のまちの形成の歴史
- ・ 都島区の土地利用現況
- ・ 年代別人口、世帯人員、住宅所有形態、居住年数

### 視点3 都市の利便性を補う「サービスや情報へのアクセスの容易さ」

- ・ シェア型モビリティポートの分布
- ・ オンデマンドバス実証実験
- ・ 区の情報発信

### 視点4 暮らしの質を高める愉しみの「豊富さ」

- ・ 都島区で開催されているイベントの実例
- ・ 区民の来訪動向、行動の傾向（人流分析）
- ・ 年齢と社会参加活動への参加状況

## 4 都島区各エリアの特徴

本章の調査内容を基に、都島区各エリアの特徴をまとめました。

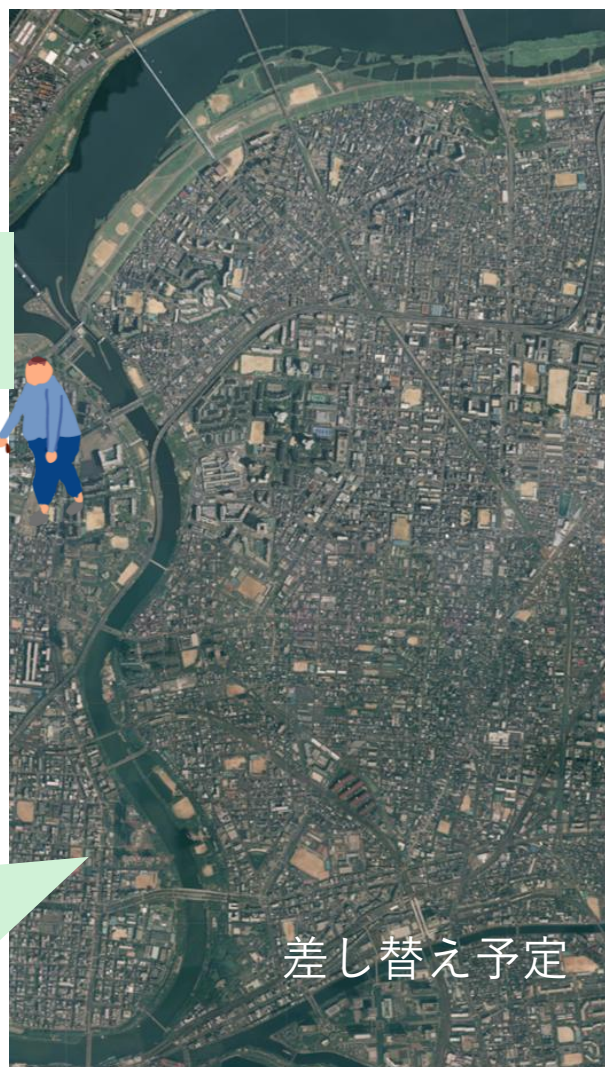


区の北部エリアは、淀川河川公園や大川が近くて、水辺と緑を日常的に感じられるエリアだね。

都島区の中では高齢化が進んでいて、戸建てや長屋が多い地域でもあるね

大川沿いの毛馬桜之宮公園は、遊歩道やビーチなどもあって豊かな親水空間が広がっているね！

藤田邸美術館や藤田邸跡公園、京橋駅周辺の飲食店など、歴史・文化から賑わいまで地域資源の幅が広いね。



西側は大規模な共同住宅が多く、東側は戸建て中心の落ち着いた住宅地が広がっているね。

中部エリアは、都島駅や幹線道路沿いを中心に、スーパーや医療など生活利便施設がまとまっていて暮らしやすそうだね。

大川沿いや公園に加えて、大規模共同住宅の敷地内の緑もあって、意外と緑量がしっかりあるのがポイントだね。

南部エリアは京橋駅を核に商業・業務機能が集積していて、区内外から人が集まる“都島区の玄関口”みたいな場所だね。

## Chapter3

# めざした、**区**都島区の 2040年の姿

## 2 まちづくりのコンセプト

# Meetable Town みやこじま

～ 都島区版15分都市 ～

魅力的なもの・こと・ひとが  
身近にある（いる）だけでなく、  
真に利用したいサービスを楽しむ。

暮らしを変えるかもしれない便利な・考え方をえるかもしれない

刺激的な情報に触れることができる。

活躍するあの人と同じ目線で話すことができる。

魅力的なあの場所に気軽に訪れることができる。

暮らしを豊かにする“出会いたい”ものに“出会える”まち  
「Meetable Town」をめざします。

### 3 “Meetable Town” の先に生み出したいまちのすがた

まちが“Meetable”な状態になることで、またその過程を通して、都島区はどのようなのでしょうか。  
私たちの身の回りを取り巻く「暮らし」「コミュニティ」「働き方」の3つの視点に基づいて、生みたいまちの状況を描きます。

まちづくりの  
コンセプト

## Meetable Town みやこじま

Meetableな「暮らし」

Meetableな「コミュニティ」

Meetableな「働き方」

2040年に  
生みたい  
まちの状況

**自然と文化が根付き  
充実感に満ち  
暮らせるまち**

身近な公園や水辺といった自然的空间を活かした暮らしが持続する状況や、新たなカルチャーが次々と生まれ、これらに彩られた暮らしを送ることができる状況をめざします。

**多様なプレイスで  
人がつながるまち**

気軽にアクセスできる場所（プレイス）が点在しており、これらをきっかけに誰もが何らかのコミュニティに参加する機会を有する状況をめざします。

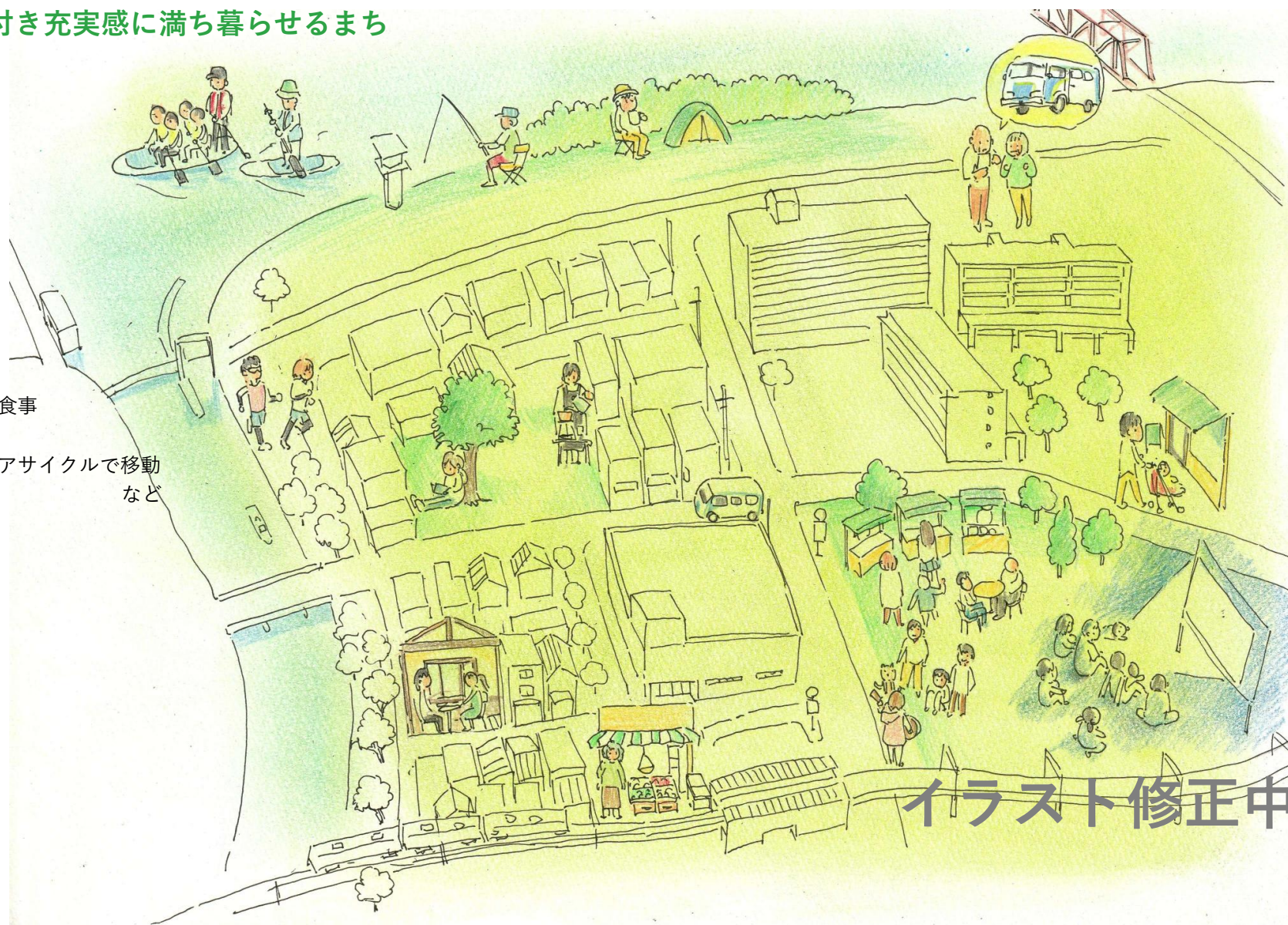
**共創やチャレンジが  
生まれるまち**

個人・中小企業・大企業を問わず、多様な立場の人材間でコミュニケーションをとることができ、新たなチャレンジが生まれる。さらには、その結果、地域の課題解決等にもつながる状況をめざします。

## 4 描きたいまちのシーン

### 自然と文化が根付き充実感に満ち暮らせるまち

- ・水辺で自然を楽しむ  
(SUP、釣り、キャンプ)
- ・ランニング
- ・サイクリング
- ・木陰で休憩
- ・まちなか音楽祭
- ・屋外で映画
- ・まちの商店での買い物、食事
- ・子連れでお出かけ
- ・オンデマンドバス、シェアサイクルで移動  
など



イラスト修正中

## 4 描きたいまちのシーン

### 多様なプレイスで人がつながるまち

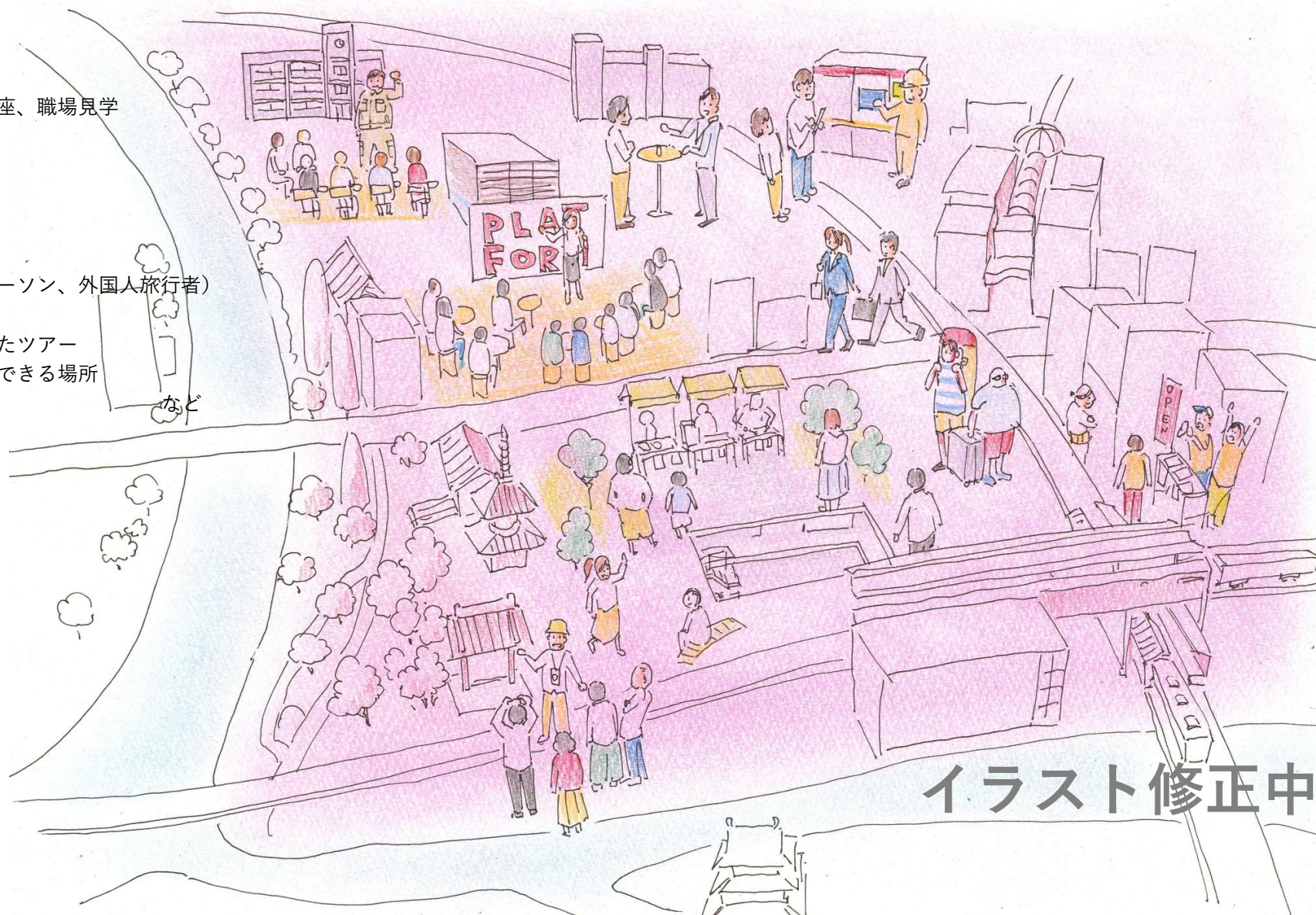
- ・ まちなかに多様なサードプレイスが点在  
子連れ同士でおしゃべり  
こどもとまちの大人が会話  
リモートワークスペース  
親子で習い事、親子で運動  
ビーチでスポーツ、砂遊び
- ・ 困りごとを気軽に相談できる窓口、場所  
子育て
- ・ 空き店舗でチャレンジショップ、マルシェ  
など
- ・ 防災イベント



## 4 描きたいまちのシーン

### 共創やチャレンジが生まれるまち

- ・ 地元企業による出前講座、職場見学
- ・ スタートアップ支援
- ・ 新たなにぎわい
  - マルシェイベント
  - 商店街のにぎわい
  - 様々な来訪者  
(学生、ビジネスパーソン、外国人旅行者)
- ・ 回遊できるまち
  - 歴史・文化をいかしたツアー
  - 待ち合わせや休憩ができる場所



イラスト修正中

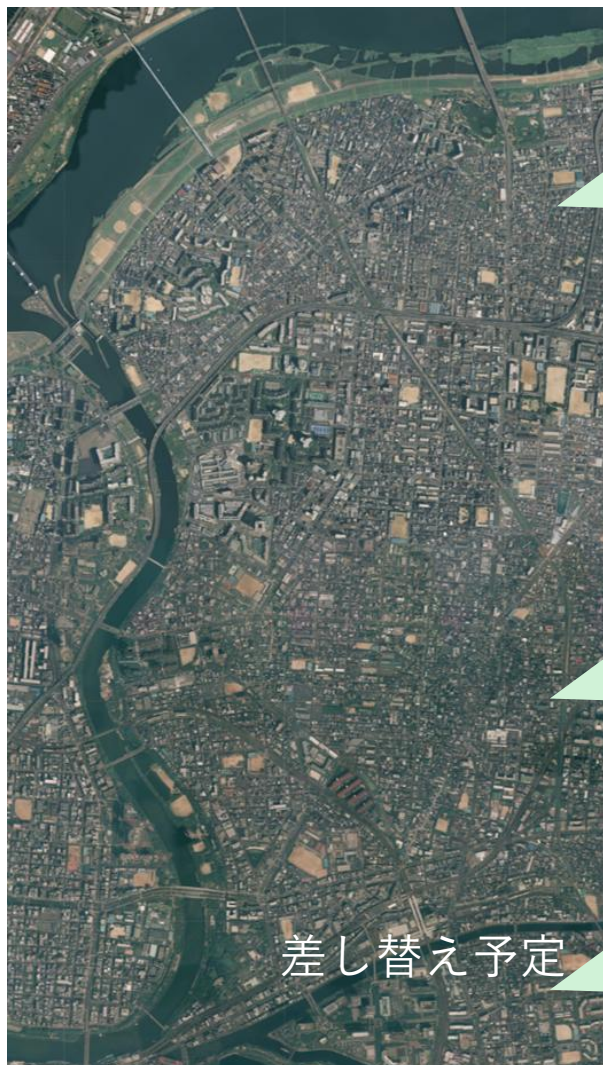
## 5 まちづくりのコンセプトを踏まえて、各エリアで取り組みたいこと

淀川・大川の水辺と緑を活かして、散歩やラン、サイクリング、デイキャンプみたいな過ごし方が日常に根づくと、都心に近いのに自然を身近に感じる暮らしができそうだね。



地域の資源や魅力をもっと“見える化”して発信できると、「ここに住みたい」と思う人を増やすきっかけにもなりそう。

まちなかの緑や水辺を、眺めるだけでなく使いこなせるようになると、暮らしの充実感がぐっと上がるんじゃないかな？



子育て中の人も含めて、いろいろな人がふらっと立ち寄れる“小さな居場所”が点在すると、ヨコやナナメのつながりが自然に生まれそうだね。

生活利便が整っているからこそ、日常の中に小さなマーケットや展示、音楽みたいな文化が入り込むと、まちの彩りが増えそうだね

京橋は民間事業者や商業、人の流れが集まっているから、スタートアップや中小企業、地域プレイヤーが混ざり合う“共創のハブ”になれる余地が大きいと思う。

駅前や商店街、公園、文化資源をうまくつないで回遊を生むと、点のにぎわいが面に広がって、エリア全体の魅力が底上げされそうだね。

## Chapter4

# ビジョンの実現に 向けたアプローチ

# 1 ビジョンを活かすべき機会と各主体の役割

本ビジョンは、まちにかかわる多様な立場の人々が、日々行う活動を積み重ねることでその実現を図るものです。以下のような機会にあっては、一度立ち止まり、本ビジョンの考え方に照らしてみるのが大切です。第3章に示す将来像は長い目でできっと、皆さんの判断の道標になると思います。

## 区民一人ひとり

### ○今の暮らしに少しの変化を得たいとき

「仕事と家庭の往復」「子育てこのままでいいのかな」「引っ越してきたけど近所のことを知らない」…暮らしに少しの変化を得たいと思ったとき、何か始めるきっかけが身近にあるかもしれません。

#### 【役割】

- ・まちづくりビジョンの実現に向けて、活動・事業を展開します
- ・区内個別のエリアのまちづくりが具体化する際は、本ビジョンに整合しつつ、より解像度の高いエリア・ビジョンを策定することを応援します。

## 民間事業者

### ○新しい事業を検討するとき

皆さんの商品やサービスがもしかして、都島区の暮らしをより良いものにするかもしれません。都島区の将来にどういった影響があるのかを考えてみたり、地域の方や意見を聞いてみてはいかがでしょうか？

### ○開発事業など不動産を活用しようとするとき

不動産は、個人の資産。でも、まちを形づくり大事な要素です。未来の区民が暮らすまちのあり方を考える参考にしてみてください。

## 地域団体

### ○従来の取組の継続が難しくなったとき

従来のコミュニティや仕組みが機能しにくい時代です。しかし、ピンチはチャンス。地域を時代に合わせて変えていくための指針にしてみてください。

### ○新たな取組を検討しようとするとき

地域に暮らす人も変わってきた。新しい取組が必要だけど何をしたらいいんだろう。そんなとき、取組のアイデアのヒントがあるかもしれません。

## 行政（市・区）

### ○新たな施策を立案するとき

都島区に関する施策を立案する際は、本ビジョンを手がかりに、その方針がみんなが描く将来に向かっていくかの参考にします。

### ○立案した制度の運用や、具体の事業内容を検討するとき

一度、方針が決まった施策についても、その運用や具体化の段階において、より将来像の実現に貢献できるものであるかを都度、見直すための手掛かりとします。

#### 【役割】

- ・ビジョンの実現に向けて各種施策・事業を展開

都島区役所

大阪市各局

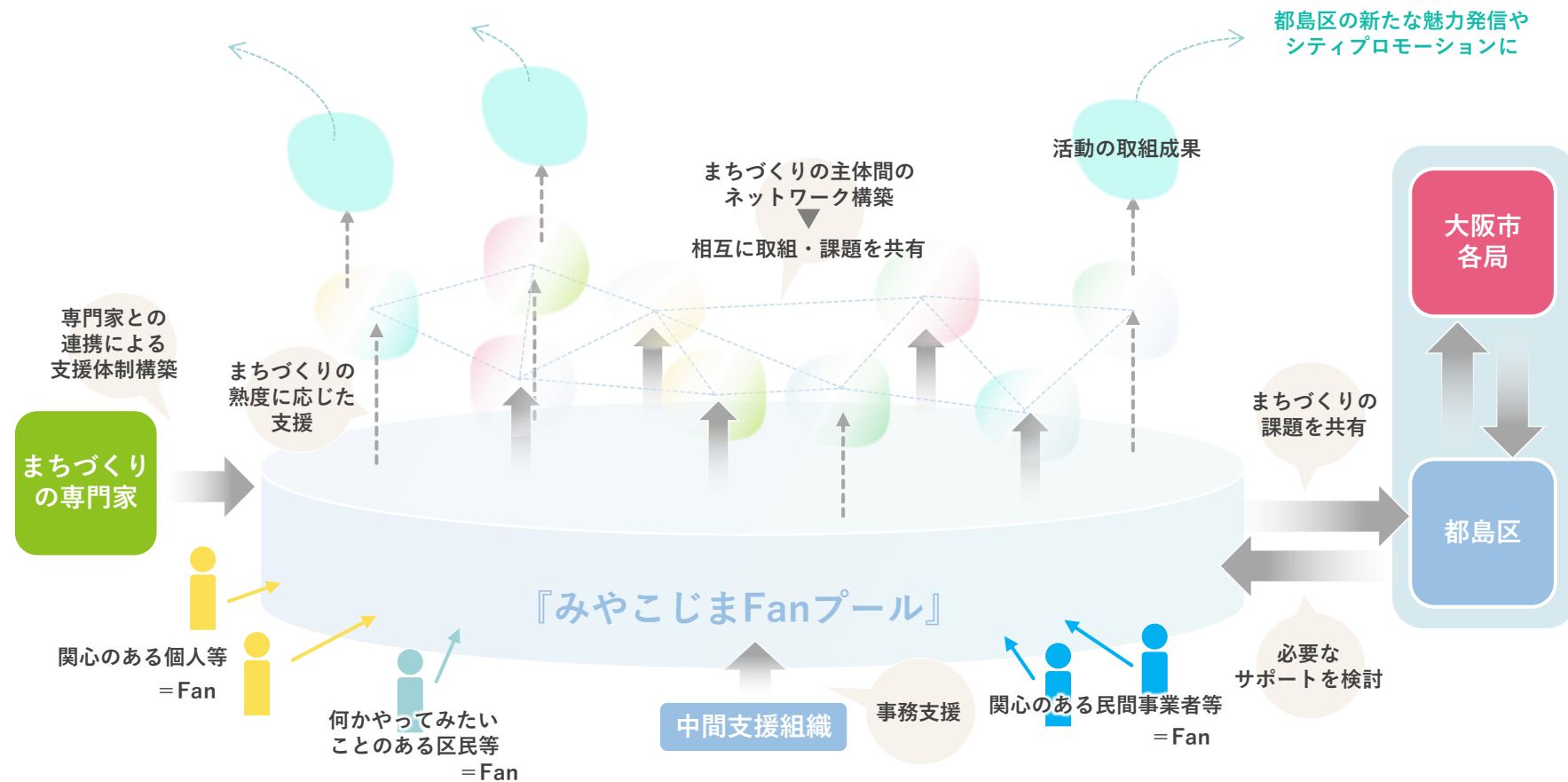
連携

連携・応援

## 2 ビジョンの実現に向けた取組の方向性

### ②区民のまちづくりを応援する全区プラットフォームの構築

具体のまちづくりは、地域が固有の課題やめざす姿に応じ、個々に取組を展開するものですが、区内のまちづくりの主体が相互に連携や情報・アイデアの共有を図ることができ、また、まちづくりの動きには至っていないものの、沸々と湧き上がる区民の「やってみたい」という意向を汲み取り、これを具体化していくためのサポートを図る**全区プラットフォーム（みやこじまFanプール）**の構築を図ります。さらに、Fanプールで生まれた取組の成果を、都島区の新たな魅力発信やシティプロモーションへとつなげていきます。



# 3 ビジョンの実現に向けたロードマップ

2040年に向けて、短期・中期・長期の時間軸に沿って、段階的に取組を推進します。

